

林業普及指導事業

1. 目的

県産材の需要拡大と安定的に供給できる体制の整備を図り、木材生産と県産材の利用促進を図るため森林所有者、林業事業体、製材業者等に対し技術指導、情報提供を行う。

森林技術センターには各分野ごとに、高度な知識・技術を有する林業普及指導員が配置され、県全域を対象として高度な普及指導をおこなっている。

2. 技術指導

①高度な森林施業・生産技術等の普及指導

コンテナ（マルチキャビティ・Mスター）による苗木生産技術（スギ・ヒノキ・広葉樹）、強度間伐・良質材生産等の造林技術、ウィッセンシステムを使った効率的な木材搬出技術、ドローンを利用した森林調査、きのこ・山菜・木炭等の特用林産生産技術、里山林整備技術。

②野生鳥獣害、森林病虫害等の防除指導

ニホンジカおよびツキノワグマ剥皮被害防止、カシノナガキクイムシ、クビアカツヤカミキリ等の被害防止

③木材乾燥の普及指導

製材業等を対象に、必要に応じて現地指導(2件)を行いながら、木材乾燥技術について普及指導を行った。スギ製材およびヒノキ製材を人工乾燥している工場では、内部割れの発生を低減させるための乾燥スケジュールについて指導した。また、広葉樹材の乾燥や、乾燥による割れについても技術指導を行った。

④木材強度・集成材の普及指導

製材業、集成材製造業等の木材関連業者を対象に、現地指導(15件)を含め、主に木材の加工方法や木材の強度について普及指導を行った。製材業においては、強度性能の検査を行うためのグレーディングマシーンについての指導を行った。また、大径材から採材した2×6材の強度について検証実験を行うことにより、データの蓄積、普及に努めた。さらに、集成材におけるたわみ振動法によるヤング係数測定や、磨き丸太の縦振動法による縦振動ヤング係数測定について相談があり、技術支援および技術指導を行った。

⑤木材保存・化学処理技術の普及指導

県内の木材関連業者を対象に、必要に応じて現地指導(2件)および実証実験を行いながら、防腐、防カビ、調色・染色処理、木材抽出成分の利用、不燃、化学薬剤含浸処理、シロアリその他木材害虫の防除、その他木材の物理・化学的処理方法等について普及指導を行った。

3. 林業普及指導員の知識と技術の習得

資質の向上を図り、時代の要請にあった林業普及指導を推進するため先進技術の情報収集を実施したり、各種研修会やシンポジウム等に林業普及指導員を派遣した。